

歯医者で働く私の、『マウスピース矯正生活』

～事務長が患者になって気づいたこと～（アライナー15／36）

原因不明の謎の痛み

直近の装着していたマウスピースは、一部だけ今までよりよりはまりづらく、強くかっちり装着されているような気がしました。

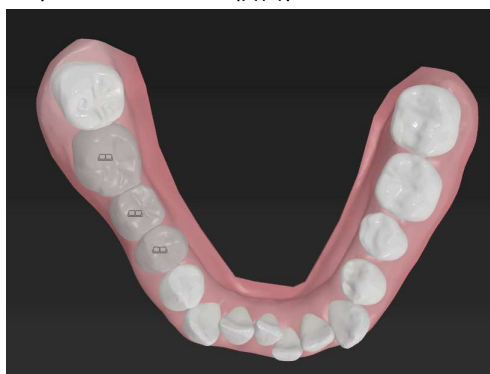
そのため、外す時には毎回多少の圧と「痛み」を感じるように。

13枚目と14枚目のシミュレーションを見比べても、ほんの少し移動しているだけで変化量に大差はないのに、一体なんでだろう…。今回の15枚目も同じなんだろうか。

（アライナー13枚目）



（アライナー14枚目）



先生：「横移動の変化差だけでなく、上の歯とのかみ合わせの縦の関係で

押されて痛くなるってのはあるかもね。痛みが続くようだったら

レントゲン撮ってみようか。」



アルゴリズムに支配される私

そんな痛みを抱えながらスマホに触れる日常生活。

歯科医院に勤務していること、そして自分自身が矯正治療の真っ最中なこともあり、SNS等の閲覧履歴が見事に歯科界隈ばかりに。完全にアルゴリズムの餌食になっています。

気がつけばタイムラインには、費用の安さ、通院回数の少なさ、治療期間の短さを強調する「マウスピース矯正の広告や投稿」が多様に溢れ、私の視界を狭くさせます。

同業界に身を置いている立場からすると、それらの極端な謳い文句に対して

「はて？」

と疑問が湧くことも少なくありません。



「マウスピース矯正」と言っても、世間の認知度が圧倒的に高い「インビザライン」をはじめ、私が使っている「クリアコレクト」など、多くの種類（ブランド）が存在します。たくさん種類があると、患者さんが「結局、何がいいの？」と迷ってしまうのは当然のことです。

当院で扱う「3つのブランド」

そもそも、扱っているマウスピースのブランドは医院によって異なります。

内部の事情で特定のメーカーを選んでいるケースも当然あるでしょう。ちなみに当院では、患者さんの症例に合わせて以下の3ブランド計4種類を取り扱っています。

先生に、それぞれの使い分けを聞いてみました。

インビザライン & クリアコレクト



先生：「奥歯も含む『全体矯正』をする場合はこのどちらか。

その中でも、より歯を固定する力が強い方がいい症例には、
クリアコレクトを選ぶね」

インビザラインGo



先生：「前歯だけの『部分矯正』をする場合。

まさにその目的のために作られたのがコレ」

invisalign go

iGO
powered by invisalign®



アラインミラクル



先生：「まだ扱っている医院は少ないんだけど、従来と作成方法が違って

『3Dプリンター』で直接作成するから、歯への密着度が高くてより
精密に動かせるタイプだよ」

このように、1つの医院で複数種類のブランドを取り扱い、症例ごとに使い分けしているところは、決して多くはないと思います。

安さや早さも大事な基準ですが、お口の状態は一人ひとり違います。

だからこそ、インビザラインやクリアコレクトなど複数の選択肢を用意し、初回のカウンセリングで『あなたに合った方法』を提案しています。

偶然の発見を、必然に

SNS等のアルゴリズムは「自分が興味を持ちそうなこと」を教えてくれる情報源としては有用です。しかし、自分の関心に合わせて最適化された「枠の中」にいと、居心地が良い反面、未知の選択肢に出会う「偶然の発見」は起こりづらくなってしまいます。

与えられた情報のみに留まらず、アンテナを外界へ向け、能動的に情報を収集する機会をたくさん作ること。

自ら枠の外へ踏み出して、多様な情報やリアルな声に触れる機会を意図的に作っていくこと。

フィルターバブルから抜け出して、偶然の発見が「必然」になるように。

